

8 展開（例）

道徳科の学習指導過程は、一般的には導入、展開、終末の各段階を設定することが広く行われている。このような指導を基本とはするが、固定化、形式化することなく、弾力的に扱うなどの工夫をすることが大切である。

□ 中心発問 ◎ 人権教育上の配慮 ☆ 評価の視点

	学習活動と主な発問	時間	予想される児童生徒の反応	教師の支援・指導上の留意点	資料
導入	<p>● 導入は、児童生徒が主題に対して興味・関心を高め、学習への動機付けを図る段階である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする価値への方向付けをし、児童生徒が明確に学習課題をもてるようにする。 <p><例>生活体験の想起、教材に関わるクイズや補説、アンケート結果、新聞記事、地図や写真の提示、映像や音楽の活用 等。</p>				
展開	<p>● 展開は、主題のねらいを達成するための中心となる段階であり、児童生徒が、ねらいとする道徳的価値の理解を基に自己を見つめる段階である。</p> <p><価値理解>教材を通して道徳的価値の理解を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態や教材の特質を押さえた発問などをしながら進める。 ・児童生徒が物事を多面的・多角的に考え理解を深められるように、対話的な学びの場を設定したり、効果的な発問や問い返しなどを工夫したりする。 <p>↓</p> <p><自己理解>自分のこととして道徳的価値を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題と関連して、児童生徒がこれまでの自分を振り返り、自己を見つめたり自己の生き方を考えたりできるようにする。 <p>※教材提示、発問、話し合い、書く活動、表現活動、板書、説話の工夫等については、学習指導要領解説道徳編(小：P84～86、中：P83～85)を参照するとよい。</p>				
	<p>● 評価の視点を指導上の留意点などに記述する。児童生徒の学びの姿を見取る際には、学習の過程を通して、いかに道徳的価値の理解を深めようとしていたか、自分との関わりで考えたかなど、成長の様子を見取るためのものであることに留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの姿を見取る方法として、ワークシート等だけでなく、授業者自らが記憶や授業中のメモ、板書の写真、録音、録画などによって、情報を集めていくことも大切である。 				
終末	<p>● 終末は、ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、実現することのよさや難しさなどを確認したりする段階である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒がこれからの生き方を考えたり、今後につなげたりできるようにする。 ・教師の説話や体験談の他、手紙、ことわざ、詩の活用などの工夫により児童生徒の思いを深めることも考えられる。 				

9 評価の視点

○ どのような学習を通して、どのようなことについて考えを深めたり広げたりするのか等を、評価方法とともに記述する。

評価に当たっては、以下のような視点を重視することが大切である。

- ① 自分なりに道徳的価値に対する考えをもっているか。
- ② 多面的・多角的な見方へと発展させているか。
- ③ 理解した道徳的価値を自分との関わりで捉え、深めているか。
- ④ 自己の生き方を考え、深めているか。
- ⑤ 学習に対して真面目に、真剣に取り組んでいるか。

記述例：○○について、自分なりに考えようとしている。(発言、ワークシート)

○○について自分の経験を想起し、考えを深めようとしている。(発言、ノート)

その他、授業資料、教材分析表、板書計画、校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導、保護者や地域の方の参加など、授業が円滑に進められるよう必要事項を記述する。より詳細な内容については以下の資料を参照してほしい。

- ・[小学校][中学校]学習指導要領解説 特別の教科 道徳編(文部科学省 平成29年7月)
- ・「考え、議論する道徳」の授業づくり(小学校段階)(栃木県総合教育センター 平成31年3月)
- ・「考え、議論する道徳」の授業づくり(中学校段階)(栃木県総合教育センター 令和2年3月)
- ・栃木県道徳教育ハンドブック(栃木県教育委員会 令和2年3月)
- ・新学習指導要領に基づく指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料(栃木県教育委員会 令和2年7月)
- ・道徳教育推進教師等研修会資料「道徳科の特質を活かした授業と評価」吉本恒幸(令和2年11月)